

秋田県ロボット技術研究会(仮称)設立趣意書

秋田県では、少子高齢化や労働力不足の問題から、ロボティクス技術を応用した自動化・省力化のニーズが非常に高まっております。様々な分野において、これまで自動化の検討がなされなかった作業を今後は取り込み解決しなければいけない状況下となっております。こうした中、秋田県内企業、特に今後自動化技術を導入しようと考えている企業がロボティクス技術の活用を図っていくため、関連技術の習得・普及の場として「秋田県ロボット技術研究会(仮称)」を設立することといたしました。

本研究会の活動内容としては下記を計画しております。

1. 外部講師を招聘した技術講演・勉強会等の開催
※第1回(設立総会)ではセイコーエプソン株式会社様を予定
2. 会員企業様からの自動化事例および自動化ニーズの紹介
3. 産業技術センターからのロボティクス関連の情報提供
4. 自動化を実現した設備やロボット関連企業等の視察
5. 個別による試作・試験、研究課題の実施

自動化ニーズのある企業はもちろん、自動化技術をお持ちの企業、システムインテグレーションを請け負える企業にも参加頂き、活発な交流を促したいと考えております。年会費は1万円(2018年度は5千円)を予定しております。

以上のような主旨をご理解頂き、本研究会への参加をご検討頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

補足資料

本研究会の中では、会員企業様同士での自動化に関する依頼・業務受託なども活発に行って頂きたいと考えております。産業技術センターとしては、ニーズに応じて自動化技術を提供する（システムインテグレーションを行う）企業様と共同研究を締結させて頂き、新規性を有する要素部品（例としてロボットハンド、搬送系、その他治具など）の開発に必要な、試作・試験および構造・強度解析による設計支援などを実施します。

